

新型コロナウイルス感染拡大防止により、卒業式、入学式は中止しました。

令和2年度

入学特集

2~5面

令和元年度 卒業特集

12~16面

派遣留学・海外夏期セミナー帰国報告 8・9面

編集部では表紙を飾る写真を募集しています! 投稿方法は nuischannel@nuiis.ac.jp までお問い合わせください。

CONTENTS

(2~5面)

令和2年度入学特集
学長のメッセージ
新入生代表 私の抱負
在学生代表 歓迎の言葉
両学部長のメッセージ

新任教員紹介
オープンキャンパス案内

(6~7面)

ズームアップ研究室
6大学間合同ゼミ発表会
韓国朝鮮文化論 卒業生が特別講演
学生プレゼンテーション大会
湧源

8・9面

派遣留学・海外夏期セミナー帰国報告
(10~11面)
キャンパス・ライフ研修会
青少年のための科学の祭典出展
就活セミナー
令和元年度就職先一覧
教員の活動

12~16面

令和元年度卒業特集
学長・理事長 卒業生に贈る言葉
卒業生 誓いの言葉
退職教員あいさつ
卒業にあたって
JABEE認定22人に修了証書授与
特別表彰・学位記授与スナップ



NUISホームページ
[\(スマートフォン対応\)](https://www.nuis.ac.jp)



Facebookページ
<https://www.facebook.com/nuis.face>



Instagram



Twitter
[@nuis_nabbit](https://twitter.com/nuis_nabbit)



YouTube
公式
チャンネル

令和2年度 新入生へのメッセージ

式辞に代えて

新潟国際情報大学
学長 野崎 茂



りますが、現下の非常事態に鑑みご了解いただきたいたいと思います。

平成6年（1994年）創立の本学は昨年25周年を迎へ、本年は新たな四半世紀に向かって第一歩を踏み出し始めます。この機に合わせて「新潟国際情報大

学（NIUIS）中期計画Ⅱ（2020～2024年）」を策定致しました。キャ

ツチフレーズは、「未来を創る大学—若者と新潟に未来を！」です。その年に国際

学部国際文化学科に126名、経営情報学科部経営学科に108名、同情報システム学科に82名、合計316名の新入生の皆さんを迎えることとなりました。

これが皆さん方第28期入学の同期生といふことになります。同期生の顔を覚えるのにちょうどいい規模、同期生のみならず先輩、後輩も含めた強力なネットワークを構築することが出来る適正な規模なのではないでしょうか。

国際学部国際文化学科では北東アジアやアジア太平洋地域などの国際社会の理

解と英、露、中、韓を中心とした外国语の習得を通じ、地域ならびに国際社会の平和や眞の発展のために貢献できる人材の育成を目指します。

経営情報学部経営学科では情報システムを使いながら、より効率的で効果的な経済活動や企業経営を実現するための知識を学んで行きます。同情報システム学科では情報システムの機能と仕組みを修得し、これを使いこなす知識と技術を身に付けて情報社会の発展に貢献できる人材を育成します。

私たち教職員は皆さん方がそれぞれの志を全うできるよう、そして「国際化、情報化の社会の中で高い専門性を身につけ、豊かな人間性を兼ね備え社会に貢献できる人材」に育つて行くよう全力を尽くします。

皆さんはこの大学への入学を選択してくださいました。大学で学ぶということはどうなことですよう。

世の中にファーストフードというジャンルの食べ物があります。短時間で調理が可能であり、あるいは注文してから直ぐに食べることのできる手軽な食品や食事ですね。ゆっくり調理する時間がない時や少し小腹が空いた時によくお世話になる食べ物です。ハンバーガー、ピザ、フライドチキン、和食で言えば立ち食いそばやうどん、そうそう寿司も元々はこの範疇の食べ物とか。本当に便利な世の中になりました。このように便利で手軽なファーストフードに対してスローフードと呼べる食べ物があります。地元の食材を使いゆつくりと手を掛けた調理をする食べ物。滋味溢れる食べ物であり、よく称されもします。新潟はこうしたスローフードを調理するための食材の宝庫。そして新潟における代表的なスローフード「おふくろの味」とか「マンマの味」というと差し詰め正月に食べる「のつべ」あたりが挙げられるかも知れません。「滋味」、「滋養」という言葉が示すように噛み締めれば噛み締めるほど味わいが出て来る、体のためにもいい、そんな食べ物が「スローフード」です。

思うに、大学での教育はこのスローフードを作ることに相当するのではないでしょうか。もちろん世の中に出ですぐ役物が「スローフード」です。

思うに、大学での教育はこのスローフードを作ることに相当するのではないでしょ
うか。もちろん世の中に出ですぐ役物が「スローフード」です。
重要なことは、それらを中心にして専門的に学ぶことのできる機関や学校も世の中には多数あります。しかしながら、ゆっくりと、場合によっては回り道をしながら、学ぶことの意義を問い合わせながら学問に打ち込んで行くことも意味あることなのでしょうか。皆さんはそんな「スローフード」を味わうことができる本学での学びを選択してくださいました。

話にこんなものがあります。

粘土をこねて茶碗を作ったり土瓶を作つたりする訳であるが、その茶碗や土瓶の必要などころはどの部分かと言えば、
遠隔授業を中心とした授業とな
ままで少し変わった授業形態、
お待たせをしましたが、いよいよ4月27
日から大学の授業の開講です。
今年度の開講に当たってはこれ

大学教育は人格陶冶にあり

とう

や

今年度の開講に当たってはこれ
ままで少し変わった授業形態、
お待たせをしましたが、いよいよ4月27
日から大学の授業の開講です。
今年度の開講に当たってはこれ

中の空虚な何もない無のところだ。その空間があればこそ茶も入り、水も入り、茶碗の用をなす。あるいは家についても

同様で、入口の戸を作り出窓を作り、そのほか床板を張り天井を張つたりするが、

部屋として最も必要なところは部屋の中の空間である。この空間の「無」があつてこそ初めて部屋の役立ちをする、と説明します。

つまりこの「無」がなければ生成物である「有」が目的とするところの働きをなすことができない、というのです。

(諸橋轍次「老子の講義」などより)

もちろん、本学では皆さんのが食べて直ぐに腹を満たし、血となり肉となるような分野の学問や専門知識を修得されるうとに力を入れます。先ほどのたとえ話でいう粘土を捏ねて作り上げる器であり、

私の抱負



新入生代表
情報システム学科 1年
丸山 直人

手を携えて難局乗り切ろう

いうことですが、本年度から国も修学支援制度を充実させることとしておりますし、日本学生支援機構をはじめ県や市の奨学

家の柱や戸、窓、屋根、床板などの造作にあたる部分です。そしてそれと同時に器や家屋の目的である飲食物を味わう、あるいは内部に入つて寛ぐことが可能となる「内部に何もしない空虚な無の部分」の涵養にも注力します。いわゆるリベラルアーツ（一般教養）教育です。先ほど

のスローケードがもたらす「滋味」「滋養」にも当たる部分です。

そしてこれこそが「大学で学ぶ」ということの意義なのではないでしょうか。大学で学ぶということは陶器を練り上げるよう人格を陶冶することなのです。そしてその結果得られるであろう無駄と

思われるものも含む多様な能力のポートフォリオを持った有為な若者を育てて行くところが、この大学という場であると確信をしております。

皆さんにもう一つ是非お伝えしておきたいことがあります。

今回の新型コロナウイルスの猛威は健康面だけに留まらず日本経済や世界経済に甚大な厄災をもたらしており、この後もいろいろな形での影響が及んでくることが予想されます。例えば皆さんのがこれから過ごす4年間の途中で、経済的な困難が生ずることがあるかも知れません。万一そのような事態が起こった場合に

金制度あるいは篤志家による奨学金制度もあります。本学でも独自の奨学金制度を設けて皆さんのが大学生活を安心して送ることができます。在学生の半分以上の方々が何らかの形でこれら奨学金を利用しておりますし、2018、2019年度の最近2年間にはそれぞれ20件を超す家計急変相談に対処しております。経済的理由による休退学は起こしてはならない、これが私たちの願いです。休退学は自分自身や周りの方々にとっての損失だけではありません。社会にとっての損失です。私たちの大学は1学年300人強のこじんまりとした大学ですが、その分結束力の強い、面倒見のいい大学です。どんなことがあっても教員、あるいはキャンパスマイフ支援委員、学務課、学生支援センター職員に相談してください。外部の専門家の紹介も可能です。親身になつて相談に乗り、問題解決のために一緒になつて当たります。

さあ皆さん、一緒に手を携えて本学の4年間を有意義なものにするために、常に向上心を持つて、経験豊富な先生方から多くのことを学んでいきます。そして、新たなことに積極的に挑戦していくことをお誓いし、新入生代表の、抱負と申上げます。

現在、私たちの生活は、たくさんの情報でできています。そのため、正しい情報を効率よく扱うことが求められていると考えます。さらに、グローバル化の影響で、海外の情報を取り入れる重要性も高まっています。大学では、そのような時代を先取りした知識を手に入れ、正し

新たな挑戦で成長目指す

暖かな春の訪れとともに、私たちは新潟国際情報大学の入学の日を迎えること

ございます。ご入学誠におめでとうございます。

歓迎のことば



在学生代表
情報システム学科 2年
島垣 光

学生生活を 全力で楽しもう

令和2年度新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、保護者の皆さんにも、心よりお祝い申し上げます。

在学生一同心から歓迎いたします。

これから大学生活がはじまる皆さんは今、どんな気持ちでしょうか。ドキドキ、ワクワクなどといった希望に満ち溢れた気持ちもある一方で、やはり新しい環境に身を投じることの不安もあるでしょう。皆さんは、数ある将来の選択肢の中で、ここ新潟国際情報大学への進学という選択をしました。その動機や理由は皆さんそれぞれでしょう。ですがこうして入学された皆さんには、是非とも全力で大学生活を楽しんでほしいと思っています。

一つ目は、「何事にも積極的に行動すること」です。大学は高校とは違い、自由です。そして時間もたっぷりあります。とにかく少しでも興味や関心があることで構いません。ためらうことなく「やつ

がるきっかけとなるはずです。二つ目は、「人との関わりや繋がりを広げること」です。皆さんの「やつてみたいこと」をいざ行動に移した時、もしかしたら困難に当たることもあるでしょう。そこで助けて欲しいとき、誰かと繋がりがあれば助けてくれる人が必ずいるはずです。当然、自分と馬が合わないような人も、中にはいるでしょう。ですが、最後に自分を成長させてくれるのは人と人の関わりや繋がりです。人と関わることを恐れず、大切にすることで、もしかしたら自分では気づけなかつた可能性を見つけ、さまざまな体験ができるかもしれません。

最後になりますが、私は皆さんにこの大学を好きになつてもらいたいです。4年間という中で楽しいことがある反面、困難に立ち向かわなければならぬこともあります。そんな時でも、新潟国際情報大学で過ごす日々が「楽しい」と思える学生生活を送つてもらいたいと思います。大学へ進学することは、単に単位をとつて卒業をすることだけではありません。大学生のうちにしかできないようなことを全力で取り組み、楽しんでみてください。

令和に入つて初めての新入生となる皆さん、これらの学生生活が充実したことになることを願い、歓迎の言葉とさせていただきます。

てみる」ことが大切です。是非ともそのためには、自分でやつてみたいことを考え、行動に移すことを心がけてみてください。将来の自分の世界が、少しでも広がるきっかけとなるはずです。

二つ目は、「人との関わりや繋がりを広げること」です。皆さんの「やつてみたいこと」をいざ行動に移した時、もしかしたら困難に当たることもあるでしょう。そこで助けて欲しいとき、誰かと繋

がりがあれば助けてくれる人が必ずいるはずです。当然、自分と馬が合わないような人も、中にはいるでしょう。ですが、最後に自分を成長させてくれるのは人と人の関わりや繋がりです。人と関わることを恐れず、大切にすることで、もしかしたら自分が気づけなかつた可能性を見つけ、さまざまな体験ができるかもしれません。

入学式は中止 遠隔授業へ



パソコン操作など遠隔授業の説明を受ける新入生

メッセージ
動画



新入生へ



鈴木 佑也 すずき ゆうや

国際文化学科 準教授

担当科目 現代ロシア論
ロシア語



Daniel James Aspell

ダニエル ジェイムス アスペル

国際文化学科 専任講師

担当科目 CEP



宮北 和之 みやきた かずゆき

情報システム学科 講師

担当科目 情報とコンピューティング
情報システム設計
データベース論

研究分野 ネットワーク工学
ネットワーク理論

学歴	略歴
2014年 9月	ロシア国立芸術学研究所 Ph.Dコース(準博士課程)修了
東京外語大学大学院 地域文化研究科博士後期課程 満期退学	
2015年 4月	ロシア国立芸術学研究所 Ph.Dコース(準博士)学位(芸術学)習得
2016年12月	東京外語大学大学院より博士(芸術)学位習得 東京外国语大学(2014年10月~現在に至る) 東京工業大学(2018年4月~2019年3月まで) 上智大学(2018年4月~2019年3月まで) 東京理科大学(2015年4月~2019年3月まで) 横浜国立大学(2014年10月~2018年3月まで) 学術振興会 特別研究員(2016年4月~2018年3月まで)

学歴	略歴
1990年	ミドルセックス大学人文科学部 哲学史・文学専攻卒業
1993年	ロンドン大学大学院 教職課程修了
1997年	Stanton school of English CELTAコース修了
2018年 6月	イギリスSunderland大学 TESOL修士課程卒業
2011年 3月	新潟清心女子中学・高等学校 常勤英語講師(2017年3月まで)
2017年 4月	国際外語・観光・エアライン専門学校 非常勤英語講師(2018年3月まで) 開学学園高等学校 非常勤英語講師(2018年3月まで)
2018年 3月	新潟市教育委員会でALTとして勤務(現在に至る)

2010年 3月	新潟大学 大学院自然科学研究科 情報理工学専攻博士後期課程 修了 博士(工学)
2010年 4月	新潟大学 大学院自然科学研究科 電気情報工学専攻助教(2012年3月まで)
2012年 4月	新潟大学 情報基盤センター 助教 (2020年3月まで)

新入生に望む

新型コロナウイルス感染で社会活動が大幅に制約されいる中、皆さんは縁あつて新潟国際情報大学に入学されました。人生100年時代が到来しつつあり、大半の人たちは70歳あるいは80歳に至るまで何らかの形で仕事に従事しながら学び続けることになるでしょう。大学卒業後50年以上もの間、働く現場や社会で学



小林 満男 学部長

経営情報学部

皆さんは100年
に一度とも言われる
世界的な疫病が蔓延
する最中に大学に入
学することになりました。おかげで、入
学式が中止となり、授業開始も、ずいぶ
ん遅れてしまいました。

コロナウイルス問題は、人類の文明全
体のあり方を問いかける地球規模の問題
にほかなりません。これから時代は、
これまでの前例や常識が通用しなくなる
ことがたくさん起こるでしょう。そんな



佐々木 寛 学部長

不確実な世界に生き抜く力を

れてきた受験勉強中心の教育は、新しい時代に対応していません。これからやてくる時代では、これまでの学校制度や受験制度の中で「優秀」であることは、何の保証にもならなくなります。

それで、皆さんに心から望むことは、第一に、まずこれまでの受験中心の狭い世界観を捨ててください。せつかく大学に

自分が変わることです。これまでの自分の殻を破つて、内に眠る新しい自分の可能性に気がついてください。

ご入学おめでとう。心から皆さんを歓迎します。皆さんと一緒に、スリルと悦びに満ちた真の「学び」ができればと思います。

多様な学びをしていただきたいと思いま
す。真・二毛作・二毛はい

時代を生き抜くためにはどんな力が必要でしょうか。

皆さんが本学、特に国際学部で学ぶことは、単なる知識の断片や、資格取得などにつながる専門技能だけではありません。今後ますます不確実性が増大する時代に必要となる、いわばホンモノの知性や真の人間力です。

残念ながら、これまでこの国で重視さ

入ったのだから、人間の能力をひとつ一つ物差しで推し量る偏差値思考はすべて捨て去ってください。

学び続ける習慣身につけよう

いるところなど、視野が狭くなってしまいます。鎧を脱ぎ捨て、友達やさまざまな人たちと交流することをおすすめします。二つ目は“磨く”ことです。自分の得意なことはドンドン深めていくといでよう。磨くことを怠つたらどんな

けよう

す。自分（I）中心の立場に固執せず、相手（YOU）の立場にも考え方を巡らせ、時には自分に間接的に関係する人たち（WE）にも視点を向けることで『自分の世界』は大きくひろがり、豊かになつていくはずです。

スマホを使う際、たまにはこの“素麿”の話を思い出してください。

び続ける時代にあって、わざか4年間の大学生活の中で学び身につけるべきものは何でしょうか。それは将来にわたつて学び続けるための知的基盤であり、学び続ける習慣力だと考えます。

学び続ける習慣力を身につけるためのポイントは3つあります。一つ目は「素直です。まずは素直に受け入れ、考えそして行動することです。食わず嫌いで

ものでもすぐに曇ってしまいます。努力し続けること、そして磨き上げることで自分自身も輝いてくるはずです。そして三つ目は、"補いあうことです。どんなことでも自分だけでできることは限られています。仲間と一緒に得意なところはおおいに競い合い、そして不得意なところはお互いに補いあうようになります。により、きっと自分たちの目標はぐっと



中でも人気なのは就職に有利とされるTOEICや英検・観光英検など資格試験対策用の書籍だ。各種試験日が近づくと対策を希望する学生でごった返す。指導しきれないとみるや率先して上級生が下級生の面倒をみてくれる。ここでは学年や専攻を超えた絆や繋がりが生まれ、下級生にそ

6階の角部屋に明るい陽射しに包まれ、住人が居ようが居まいが365日ドアが開かれたりわけ、言語学、特に第二言語習得論（SLA）、チョムスキー関連の書籍も豊富に揃っている。

「YASUKO研」について？

国際文化学科 講師 佐藤 泰子



ニュージーランドへの海外実習に参加した学生と
国立ワイカト大で(2019年・左端が筆者)

“Learning English Opens the Doors to the World & Your Dreams”

この教育理念は新潟、日本の英語教育を牽引する気概のある学生を育成、輩出していくこと。そのため、グローバルな教育は欠かせない。学生を連れ、積極的に海外の学会へ足を運び、共に学ぶ。“Learning English Opens the Doors to the World & Your Dreams” 6階の「YASUKO研」は世界へ夢へと続く“DOORS”それが605研、通称YASUKO研である。

中でも人気なのは就職に有利とされるTOEICや英検・観光英検など資格試験対策用の書籍だ。各種試験日が近づくと対策を希望する学生でごった返す。指導しきれないとみるや率先して上級生が下級生の面倒をみてくれる。ここでは学年や専攻を超えた絆や繋がりが生まれ、下級生にそ

米国は60年代から現在に至る過程で教育専攻の大学院生がTA（Teaching Assistant）として学部向けの授業を行い、リベラル・アーツの基礎を担ってきた。当時、教育を専門とする私もその一人であったが、その主な目的は教育の質と公平性、また院生の経済的な支援を目的とするものである。

その米国での経験を活かし、私の授業でも学生を補助し指導するstudent assistant（S A）を採用している。45分という短い授業を有効かつ効果的な授業運営に繋げるためだ。理解度が異なる学生に寄り添いながら、個々の質問に丁寧に答えてくれる頼もしい存在でもある。彼らは自発的に手を挙げ、授業内外でも率先して指導や助言に当たる良き先輩、良きロール・モデルとなっている。専門教育を支える基礎教育の充実こそが、大学教育の質を高めると同時に人材育成に直結するとの強い想いがある。

私の担当は主に基礎教育科目。「英語基礎B/E」「総合英語Integrated Skills in EFL」などリベラル・アーツを支えるコア科目である。人気のCommunicative English Program（CEP）を下支えし、専門教育を学ぶために必要とされる基礎知識の土台を担っている。そのため、サポートが必要な学生のために授業を補助する学生(student assistant)が欠かせない。

の伝統が引き継がれている。

私の担当は主に基礎教育科目。「英語基礎

」

B/E」「総合英語Integrated Skills in EFL」などリベラル・アーツを支えるコア科目である。人気のCommunicative English Program（CEP）を下支えし、専門教育を学ぶために必要とされる基礎知識の土台を担っている。クラスとも全て英語による授業が実施されている。そのため、サポートが必要な学生のために授業を補助する学生(student assistant)が欠かせない。



合同ゼミ発表会でプレゼンする後藤瞭太さん

6大学間合同ゼミ発表会

昨年の12月21日に東京都世田谷区にある日本大学商学部キャンパスで開かれた「6大学間合同ゼミ発表会」に、内田先生とともに参加してきました。

この発表会は、日本大学商学部の高井ゼミナールの学生をはじめ、神奈川大学、高崎経済大学などの学生も参加し、各ゼミで行つた研究成果を発表するという場でした。各大学の発表内容は、主にビジネスに関するもので、企業研究やビジネスモデルの研究、公表データ分析などで、内田応用ゼミの研究、公表データ分析などをしました。

と、「都市と地方の人口格差はJリーグの環境に影響を及ぼしているのか」というリサーチエスクーションを設定し、人口によるJリーグのクラブ成績や集客率のデータを収集し、実証しました。クラブ情報の開示が少ない中、ゼミ生全員で資料を集め、各人に役割を分担し、先行研究の検討やデータ分析を行うことで当日の発表は私一人で行いましたが、ゼミ生全員の努力が実を結び、他大学の学生や教員からも評価していただけたと感じています。

Jリーグから見つめる地方格差の研究 —経営学科・内田応用ゼミ

来年度の参加もお声かけをいたしましたので、よりレベルアップして臨みたいと思いま

せられ、とてもいい刺激になりました。



発表する古川優美さん

月24日

月24日、本学の卒業生・古川優

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

1

出会い新鮮 海外派遣留学

アメリカ

私にとって留学は初めての海外訪問であり、これまで日本を出したことがなかつたため、とても不安を感じています。その不安とはした。

裏腹に飛行機に乗つ
ている間、私たちは
とても興奮し期待に胸を膨らま
せていました。16時間後、私た
ち16人はセントラル・ミズーリ
州立大学に到着しました。

実を結んだ英語で話す努力

できることを強調しました。日本食が
なり、家族に会
はつたり、カルチャ
ークやホームシック
も経験しました。
しかし、このま



ハロウインパーティーにて(筆者右端)

新たな視点で広がる世界

国際文化学科3年 湯田 真子

慶熙大学校
のクラスに

韓國

国籍を越えて感情を共有

國際文化學科3年

上村菜々美

私たちちは昨年9月から4ヶ月間、慶熙大学校で韓国語を学んできました。初めは韓国語で会話がうまくできず、仲良くなるのに時間がかかりましたが、次に時間かかりましたが、次に二ケーションをとることができます。他の国の留学生と一緒に毎日一緒に勉強することもとても楽しく、刺激的な時間でした。

それとともに、自分の気持ちを韓国語でうまく伝え、コミュニケーションをとることができるようになりました。他国の留学生と毎日一緒に勉強することはとても楽しく、刺激的な時間でした。

私はこの
留学で、日
本人にはな
い積極性や
決断力やコミュニケーショントリートメントの面白さに驚かされ
ることもありましたが、そこから学べること、吸収できること
泣いたりしたこと、心を許せ
業で見た映画のシーンで一緒に授業にも慣れ、クラスメイ



韓服を着てタイムスリップ

この留学生活で、二つの大切なことを得ることができました。一つは、異国で生活する上で欠かせない「協調性」です。時に励まし合い、時に笑い合い、さまざまな時間を共有してきた留学生のメンバーには、本当にお世話をになりました。

出発時は日韓関係の悪化を伝えるニュースが多くとても不安でしたが、実際に韓国で生活してみると、私たちにとても優しく温かく接してくださる方が多く、安心して過ごすことができました。

そこから韓国語を学ぶ意欲が湧き、昨年9月から4ヶ月間、韓国留学という貴重な体験をしました。

新たな視点で広 国際文化学科

がる世界
は3年 湯田 真子
は中国、ベトナム、
スウェーデン
慶熙大学校
のクラスに
見」です。

るようになり、一気に世界が広
がりました。

国の学生と一緒にいると、今まで考えたこともなかつた視点からものごとを考えることができ

海外提携大学に学生を派遣する「令和元年度派遣留学・夏期セミナー」が実施され、5カ国・5大学へ合計

60人が留学しました。8月上旬出発のカナダコースから12月末に帰国したロシアコースまで、最長4ヶ月におよぶ留学報告を寄せてもらいました。

異文化に学ぶ 充実の日々

の成長が実感でき、とても感動しました。どんなプレゼンを行つたかなど、本学の特徴や、新潟の良さを「地形」「米」「川」の三つのチームに分かれて発表しました。現地の人々の反応も楽しく、非常に良いプレゼンにな

つっていたのですが、あとから乗り込んだ男性がそのおじいさんの隣の席に座って、「良いバイクですね」と話しかけたのです。私はこれに衝撃を受けました。何気ない会話から出会いは

経営学科3年 後藤 瞭太

出会いの力で成長を実感

出発前の壮行会のことを思い出すと、その時に比べて自信に満ちた顔に変わったように感じます。カナダでの生活を共にした仲間も同様に成長しました。

カナダ

中国語コースは、昨年8月26日から12月28日までの4ヶ月間、中国語や文化を理解するた



北京師範大学教室にて 同じクラスのみんなと(左端が筆者)

生活文化を通し理解深める

め、北京師範大学に留学しました。私のクラスには日本人がいなかつたため、授業の初めはとても不安でしたが、クラスメイ

中国人の先生もとても優しく
熱いぞ」「

話し、授業中は

るものでした。私のクラスは韓国人や、ロシア人、イギリス人などが在籍していました。彼らは、とても流ちょうに中国語を

A black and white photograph capturing a group of approximately ten people, mostly young adults, posing for a photo in front of a massive, intricate mechanical sculpture. The sculpture, which appears to be a dragon or a similar mythical creature, is constructed from various mechanical parts, gears, and metallic components, giving it a steampunk aesthetic. It has large, expressive eyes and a mouth full of sharp teeth. The background shows a city street with modern buildings, suggesting the event is taking place in an urban setting. The people in the foreground are smiling and making peace signs, while others look directly at the camera. The overall atmosphere is festive and celebratory.

Cariwest Paradeで(最後列 仮面の男性の右が筆者)

く、彼らは、私に英語を使つてたくさんの中学生を教えてくれました。

ができたと思っています。
私は毎週、ロシア語スピーキングクラブと英語スピーキングクラブに参加していました。そこでロシア人とロシア語や英語を使って交流しました。そのため、私はたくさんの友達をつくることができました。休みの日は、彼女と一緒に過ごすことが多かったです。

白ラジオフトク噴水広場にて

語学でつながる友達の輪

國際文化學科3年 小飯塚百佳

シア語スピーキング

ています。

最後に、私たちの留学を後援していただきました。

事をした。

で、毎日学校に行くのが楽しみでした。ロシアで学んだことを忘れないためにも、これからもロシア語の勉強を継続していくう思います。

四
アシ

業を受けるたびに、中国についての知識が増えていきました。クラスメイトも中国の状況をとても理解しているので、よく一緒に出掛け、おいしいお店にも行きました。日本に帰ってきてからも、彼らと連絡を取り合っていきます。

北京で過ごした時間はとても有意義でした。これからも中国大学からの奨学金をはじめ、留学や留学中の手厚いサポートがあつたからこそ、私は留学が参加し、無事に帰国することができました。私たちの留学を応援し、支えてくださった、區先生、佐藤若菜先生、学務課の方々、本当にありがとうございました。

語の勉強を頑張っていきます。
大学からの奨学金をはじめ、留

Q

キャンパス・ライフ研修会

キャンバス・ライフ支援委員会では、障がいのある学生

に対して、障がいを理由とした不当な差別的取扱いをしない、また権利利益を侵害しないために、

本学の学生や教職員の理解を深め取組みを行っています。

この取組みのひとつとして、「発達障害のある（ことが疑われる）学生への支援・配慮」に関する研修会が、令和2年1月8日、本校（みずき野キャンパス）大会議室で

研修会では、新潟大学教職大学院教授の長澤正樹氏をお迎えし「特別な支援を必要とする学生への対応」（A D H A）加しました。

本学の教職員43人が参

開催され、差別解消法と合理的配慮等に

関して、たくさんの具体例やお話をいただきました。質疑応答では、「配慮と指導の境界は？」、「配慮内容に対する他の学生からの反応は？」、「カ

特性の理解・対話と気づき・自己肯定感

発達障害学生との接し方学ぶ

ます。

D、A S Dを中心的に合理的配慮」のご講演をいただきその後、質疑応答を行いました。

ご講演では、特別な支援を要する児童生徒・学生の状況と指導状況、発達障害と二次

ウンセリングや医療機関への促し方・つなげ方は？」といった質問がありました。ご講演、そして質問へのご回答を通して、「発達障害学生との接し方に関しては、それ

対話による気づきと自覚、主的な学びによる自己理解と自己肯定感の獲得に丁寧にじっくりと時間をかけてと」の大切さを再認識した研修会となりました。

（キャンパス・ライフ委員長

経営学科准教授佐々木桐子）

科学の祭典

「青少年のための科学の祭典 新潟県大会」が令和2年2月1日、2日の両日、長岡市のアオーレ長岡で開催され、河原研究室（教員1名、学生7名）で「プログラミング体

験～自分で描いた絵を動かしてみよう～」というタイトルでブースを出展しました。

「青少年のための科学の祭典」は、理科や数学あるいは科学技術といった分野の実験や工作を一堂に集め、小

学生・中学生

・高校生らを中心とした来場者に楽しんでもらうイベン

ントです（青

科学の祭典・新潟大会 実行委員会、日本化会

プログラミング体験に300人 河原研究室がブースを出展

張版です。

親子連れの小学生を中心



（情報システム学科准教授佐々木桐子）
河原 和好

・(2020年2月13日～14日) 「中国と東南アジアにおける政治経済的変容と女性の移動」令和元年度東南アジア地域研究研究所共同利用・共同研究拠点「東南アジア研究の国際共同研究拠点」 年次研究成果発表会プログラム（京都大学・東南アジア研究所）

佐藤 泰子（国際文化学科・講師）

・(2020年2月14日) 「学生プレゼンテーション大会」在日米大使館・新潟日米協会共催事業（万代シルバーホテル）

藤田 美幸（経営学科・准教授）

・(2019年9月13日～15日) 「ハイブリッドまちあるきがもたらす地域資源の価値に関する一考察」地域活性学会 第11回研究大会（長崎県大村市）

アレクサンドル・ブーソル（国際文化学科・教授）

・(2020年2月15日) 「近くで遠い国、ロシア」新潟日報社連携講座 異文化塾（新潟国際情報大学・新潟中央キャンパス）

堀川 祐里（国際文化学科・講師）

・(2019年12月14日) 「戦時期の貧困母子に対する救貧対策－母子保護法の運用方針に着目して」社会保障研究会（東京大学・本郷キャンパス 赤門総合研究棟738教室）

矢口 裕子（国際文化学科・教授）

・(2020年2月25日) 「ジェンダーギャップ指数121位と日本の政治課題」市民政治塾（新潟国際情報大学・新潟中央キャンパス）

山田 裕史（国際文化学科・准教授）

・(2019年11月23日) 「カンボジアにおける選挙不正と選挙監視」「東南アジアの選挙監視と政治体制に関する比較研究」研究会（名古屋大学）

・(2019年12月21日) 「ボル・ボト政権後のカンボジア政治（1979～2019年）」慶應義塾大学法学院「体制移行期の法と正義」（慶應義塾大学）

・(2020年3月18日) 「カンボジアにおける汚職取締の現状と課題」「新興国における汚職取締の政治学」研究会（京都大学）

3)委員・社会的活動・記事・その他

小宮山 智志（経営学科・准教授）

・(2019年11月9日) 小出小学校地域懇談会：小出の明日を語る会 講演「いまなぜ『社会に開かれた教育課程』が必要か」（小出小学校）
・(2019年12月17日) 「中野小屋地区各種団体責任者の集い」における各団体連携・協力促進のためのワークショップ（ファシリテーター）（中野小屋連絡所）

佐藤 泰子（国際文化学科・講師）

・(2020年3月) 「オアシス21」No.94「シニアカレッジ新潟 まちかどふれ愛英会講座」(6-7頁)
(2020年3月号) 新潟県社会福祉協議会発行

高木 義和（情報システム学科・教授）

・(2020年12月25日) 特定個人情報保護評価書の点検 令和元年度第2回新潟市個人情報保護審議会（新潟市役所）

藤田 美幸（経営学科・准教授）

・(2019年7月27日～8月4日) 公益財團法人全日本スキー連盟：独立行政法人日本スポーツ振興センター委託事業「女性アスリート強化支援」（女性アスリート競技大会等プログラム）：2019年度 SESSION 1 外部評価者（宮城県・東北クエスト）

・(2019年11月25日) 公益財團法人全日本スキー連盟：女性アスリート強化事業 中間評価・検証会議（国立スポーツ科学センター）

・(2020年1月11日) ひろしま雪山誘客促進協議会主催：「チャレンジ！スノーボード Powered by Tomoko Takeuchi」講師（広島県・スノーリゾート猫山）

・(2020年2月21日～22日) 新潟大学理数科学分野における東アジア地区の次世代研究者育成プログラムにおける日本事情研修 講師（新潟県津南町 ニュー・グリーンビア津南）

山田 裕史（国際文化学科・准教授）

・(2020年2月13日) 『西日本新聞』(2月13日付) 「カンボジア優遇関税『一部停止』経済影響、最悪は回避」にコメント掲載

就活セミナー

アーカンドサカモト(株)	協栄信用組合	(株)中央製版	(株)ビット・エイ
アースサポート(株)	(株)クボ製作所	(株)津南高原開発	(株)ファミリーネット・ジャパン
(株)アイエイフコンサルティング	(株)クリエーション・ビュー	燕市役所	(株)フェリーチェ
(株)アイ・プライド	(有)ケイアンドケイ	DSP(株)	福田道路(株)
青山商事(株)	警視庁	TBCグループ(株)	富士ゼロックス新潟(株)
あおやまメディカル(株)	コクヨ北陸新潟販売(株)	(株)ティルウインド	(株)フジミック新潟
アクシアルティリンググループ	(株)ネクシオ(株)	デジタル・ド・タイピング・コンソーシアム(株)	(株)富士薬品
(株)アクティオ	(株)マツカスタマーサポート(株)	(株)電算	(株)船栄
(株)アスカプランニング	(株)コメリ	㈱東海日道パートナーズEAST	(株)ブルボン
アルカディアシステムズ(株)	(株)コロナ	東京アブリケーションシステム(株)	(株)ベニコムフューチャー
(株)アルコン	コンピュートロン(株)	東京映像美術(株)	(株)ポーラ
(株)安中製作所	坂井建設(株)	東西運輸(株)	(株)北越ケーズ
(株)アンプラグド	有桜井建設設計	東芝ホームテクノ(株)	(株)ホクエツ信越
イオンリテール(株)	(株)サンケイ情報ファシリティ	(株)トーダイ	(株)北陸電機商会
(株)井関新潟製造所	三条信用金庫	(株)トッキー	星野楽器(株)
(株)インテック	(株)サンソウシステムズ	外山産業グループ	(株)ほしゆう
(株)ウイザップ	(株)ジェイ・エス・エス	トヨタ部品新潟共販(株)	(株)ホテル一井
ウエルシア薬局(株)	(株)システムフロンティア	(株)新潟ワボタ	(株)ホテル新潟
(株)ウォロク	シマト工業(株)	(株)新潟グランドホテル	ホテルニューオータニ長岡
(株)内山溶接工業	(株)ジム・コンピュータ・サービス	新潟県警察	(株)ホンダ四輪販売新潟
(株)エイエイピー	ジャパニアス(株)	(株)新潟県農協電算センター	(株)マーキュリー
(株)江口経営センター	昭和電機産業(株)	(株)新潟ケンペイ	まいばすけっと(株)
(株)越配	(株)シリウス	新潟航空サービス(株)	(株)松井組
(株)エヌ・ティ・エス	新日本海サービス(株)	新潟サンリン(株)	(株)マルゴシステム
(株)NHC	シンワ測定(株)	新潟信用金庫	(株)マルサン
(株)NS・コンピュータサービス	杉山金属(株)	新潟染工(株)	丸高工業(株)
エヌエスエレクトロニクス(株)	(株)鈴木コーヒー	新潟綜合警備保障(株)	(株)マンションセンター
NNC(株)	(株)スペースアルファーシステム	新潟竹内ハガネ(株)	(株)三田ホールディング
(株)NCI	(株)諏訪田製作所	新潟日産モーター(株)	(株)源吉兆庵
(株)エヌ・シー・エス	スワロー工業(株)	新潟フィールズパートナー(株)	明治安田生命保険(相)
(株)N's style	セキスイハイム信越(株)	新潟みらい農業協同組合	(株)明昌堂
(株)エヌ・ティ・エス	全国共済農業協同組合連合会	新潟メタリコン工業(株)	明和工業(株)
(株)エフティー・ブイ	(株)セントラルパートナーズ	ニイブロ(株)	(株)メディア・アナライザ
(株)エム・アイ・ディジャパン	(株)総研システムズ	(株)日産サティオ新潟西	モトレーンニイガタ(株)
遠藤商事(株)	(株)ソフトウェアサービス	日産プリンス新潟販売(株)	(株)ヤマダ電機
大野精工(株)	株第一実業	日本精機(株)	(株)UK
岡三にいがた証券(株)	第四コンピュータサービス(株)	日本ビルコン(株)	ユナイト(株)
(株)オタケ	株第四北越ファイナンシャルグループ	日本ケミコン(株)	(株)吉運堂
(株)小野組	太平興業(株)	日本生命保険(相)	(株)ヨシカワ
小柳建設(株)	太平ビルサービス(株)	(株)日本ハウスホールディングス	ライクスタッフ(株)
海上自衛隊	(株)高儀	(株)ニューメディア	陸上自衛隊
開発技建(株)	(株)たかだ	(株)農協観光	リコージャパン(株)
カトウ・サイン工業(株)	田上化工(株)	(株)ハーヴィッド	(株)リペア
カナカン(株)	(株)タカヨシ	(株)ハーモニック	(株)リンクコーポレーション
神山物産(株)	医佐武会 武内歯科医院	バクマ工業(株)	ルートインググループ
(株)カワチ薬品	(株)田中衡機工業所	羽田空港サービス(株)	(株)レザーテクノ
北蒲みなみ農業協同組合	(株)タマハシ	(株)バンズタバ	(株)レックス
キヤノンイメージングシステムズ(株)	チエナットコンサルティング(株)	東日本旅客鉄道(株)	(株)ワープорт
(株)キュー・ピット	中越通運(株)	(有)ビズカムソニー	今和2年2月現在(「人材庫」)

教員の活動（本人申告による）

1) 研究論文・図書

臼井 陽一郎(国際文化学科・教授)

- ・(2020年1月) 「クロスロードのEU－歴史的使命を担うべき政体は矛盾の塊」『図書新聞』
(2020年1月1日号)

佐藤 若菜(国際文化学科・准教授)

- ・(2020年2月28日)『衣装と生きる女性たち：ミヤオ族の物質文化と母娘関係』京都大学学術出版会

白井 健二(経営学科・教授)

 - ・(2020年2月) "Mathematical Modeling and Risk Management of Production Systems with Jump Process via Stochastic Analysis", International Journal of Innovative Computing, Information

and Control, Vol.16 No.1 (153-17)

- 瀬戸 裕之(国際文化学科准教授)

 - ・(2020年2月)瀬戸裕之、河野泰之「序論 東南アジア大陸部の戦争と地域住民の生存戦略をみる視点」『東南アジア大陸部の戦争と地域住民の生存戦略－避難民・女性・少数民族・投降者からの視点－』(15-49頁)
 - ・(2020年2月)瀬戸裕之第1章 ラオス中部地域にみる被戦争社会の変容と地域住民の生存戦略－戦争期の組織的移住と生活再建を中心に－『東南アジア大陸部の戦争と地域住民の生存戦略－避難民・女性・少数民族・投降者からの視点－』(113-164頁)
 - ・(2020年2月)瀬戸裕之、河野泰之「おわりに 戰中・戦後の生存戦略と被戦争社会に関する仮説」『東南アジア大陸部の戦争と地域住民の生存戦略－避難民・女性・少数民族・投降者からの視点－』(291-304頁)

藤田 美幸(経営学科・准教授)

- ・(2019年12月) 「ハイブリッドまちあるきによる地域資源の物語化 -『2017ふるまちクエスト』を事例として-」(査読有) モバイル学会誌 vol.9 No.1/2(1-6頁)

吉澤 文寿(国際文化学科・教授)

- ・(2019年12月) 吉澤文寿(李賢周訳)「現代韓日問題の起源 韓日会談と『戦後日韓関係』」一潮閣(韓国・ソウル)(495頁)

2) 学会・研究会・講演等

小山田 紀子(国際文化学科・教授)

- ・(2019年8月27日)「植民地化・植民地支配・脱植民地化の比較研究 -フランスアルジェリア関係と日朝関係をめぐって-」第2回 国際共同研究会議（主催者）（明治大学）
 - ・(2019年9月7日)「人の移動から見るフランス・アルジェリア関係 -植民地化・独立戦争・脱植民地化をめぐって-」新潟ATA 講演（クロスマルシェいがわ）

佐藤 茗蘋(国際文化学科・准教授)

- 佐藤 石井「国際文化学科・准教授」

 - ・(2019年11月9日)「中国貴州少数民族の服飾文化：ミャオ族の事例から」共立女子大学・短期大学総合文化研究所「中国貴州少数民族の服飾文化と歌文化」（共立女子大学）
 - ・(2019年12月26日～27日)コメントナー（郭睿馨）「櫛作りをめぐるヒトとモノの相互の関係－苗族の櫛の現れを中心として」東アジア人類学研究会第6回研究会（国立民族学博物館）
 - ・(2020年1月17日)主催・司会 (Prof. Mei-Ling Chien "Framing Subjectivity, Identities, Mobility & Multiple Modernities: The Life History Narratives and Migratory Experiences of the Hmub Women in Southeastern Guizhou") IPCR「中国と東南アジアにおける政治経済的変容と女性の移動」第4回研究会（京都大学・東南アジア研究所）
 - ・(2020年1月24日)主催・司会（櫻田涼子「選択肢のはざまで揺らぐ決心－マレー半島における華人女性の移動と都鄧關係」、小島敬裕「国民党軍の『眷属』としての少数民族女性－雲南から台湾への移動と生活の再構築」） IPCR「中国と東南アジアにおける政治経済的変容と女性の移動」第5回研究会（京都大学・東南アジア研究所）
 - ・(2020年1月30日～31日)「鳥居龍蔵の西南中国調査」国立民族学博物館共同研究会「人類学／民俗学の知と国民党の関係：20世紀前半のナショナリズムとインテリジェンス」（徳島県立鳥居龍蔵記念博物館）

講師を務めたキャリア支援課 西脇課長

就職活動の「面接官をつなぐセミナー」が昨年、新潟日報メディア開かれました。学生と保護者約40人が参加し、就職環境の現状を踏まえたうえで、新聞を活用集や業界分析の学びました。

キヤリア支援課長・西脇由

就職活動のコツを学ぶ
「面接官をうならせる就活
ミマナー」が昨年12月2日、
新潟日報メディアシップで
開催された。西脇茂雄キャリア支
援課長は、学生たちがどの
ような就職活動をしている
のか、首都圏と北信越地区
の優位の売り手市場という言
葉に惑わされ、自ら活動し、
「幅広く企業を見て、自分の

卒業生に贈る言葉

式辭にかえて



新潟大学情報国際学長
野崎 茂

晴れて学士の学位を授与された情報文化学部166名、国際学部114名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新潟国際情報大学の役員、教職員、関係者一同心より祝福致します。併せてご家族、ご友人、関係者の皆さんにもお慶び申し上げます。

新潟国際情報大学は昨年創立25周年を迎え、これまでに皆さんを含めて累計665名の卒業生を送り出して参りました。その建学の理念は「日本文化の理解の上に立ち、国際的視野のもと、情報文化の発展に貢献できる有為の人材たらんとする意欲のあふるる青年を教育し、健全な心身を持つ、個性豊かな人間形成に資する」と謳つております。皆さんは元号が令和に改まってからこの本学最初の卒業生であります。そうして記念すべき年の卒業式典であります、各国各地に新型コロナウイルスによる肺炎疾患などの蔓延という由々しき事態が生じ、誠に残念ながら中止の已む無きに至りました。記念すべき門出の日への思いがけない横やり。誠に痛恨の極みであります。さて、今私たちが過ごしている現代の日本社会を「国際化」という観点で見てみましょう。国際交流はますます盛んとなり、本学もその大きな流れに乗って進んで参りました。本学からは毎年露、中、韓、米、米国などに留学生を派遣し、これまでに中、

韓、ベトナム、スペインからの留学生を受入

サプライチェーンの構築などはその好例と言えましょ。しかしながらしばらく前からこうした流れに見直しの兆しが見えていることも確かです。世界経済をけん引していた米国がサブプライムローン問題で変調をきたし始めた2007年後半以降には「デカツプリング」、つまり米国経済と新規開拓等とは切り離して考えた方がいいのではないか、ということが議論されておりました。あまりに精緻かつ複雑に、それも

何ともおどろおどろしい雰囲気が漂う句です。詠まれたのは1935年。あの「2・26事件」が勃発する前年です。国内外で政治経済が混乱し、日本が暗い社会に突入しようとしている時代の句であります。この後の歴史の歩みは皆さまご案内のとおりです。これを現在の日本と比較するつもりは毛頭ありません。時代背景もまったく違います。ただこうした一寸先は闇という混沌の中に身を置いているという点では似通つたものがあると言えましょ。

ここで、貧困や格差の是正、気候変動対策など人類が挙げて取り組まなければならぬ17のユニヴァーサルな目標と169的具体的なターゲットや施策が掲げられております。国際化、グローバル化の流れはこのように順調に進んでおりました。ほんのしばらく前までは、

同様に「情報化」という観点から現代の

変革のうねり捉え

理想世界の解を求めよ

鎖の世界をもう一度整理し直してみようといふ考え方につながるところがあるかも知れません。実際のところ今般の新型コロナウイルス騒動を機に、基幹産業の生産拠点の自国回帰や複数場所への分散移転という声も最近耳にするようになっております。またいろいろな媒介手段を通して、噂、デマ、フェイクニュースを含め、真偽不明なまま各種情報が瞬時に伝わり拡散するようになりました。

私たちも、そして世界はこうした先の見通しが立ちにくい混沌とした世界の中におります。皆さんがこれから船出しようとしている世界は私たちがこれまで経験したことでもない世の中になりつつあるようにも思われます。こんな句があります。

「ただならぬ 世に待たれ居下す 卒業する女」

私たちも、そして世界はこうした国際化、情報化を推し進めることによりコストの極小化、ベネフィットの極大化を図ると共に便利さを追求してきました。国境を越えた

日本社会を振り返つて見ましょ。皆さんが生まれた1990年代末には携帯電話でメールやインターネット回線への接続ができる「iモード」が一世を風靡しておりました。いわゆる2Gそして3Gの時代です。2010年代にはスマートフォン普及に伴う通信の高速大容量化が進み4Gの時代に入り、今年はいよいよ日本でも5Gサービス開始となりました。これにより「高速大容量」、「高信頼・低遅延通信」、「多数同時接続」が可能となりAI、IOT時代の基盤となる通信インフラが整備されると言われております。まさにこの世界は日進月歩の勢いであります。

私たちも、そして世界はこうした国際化、情報化を推し進めることによりコストの極小化、ベネフィットの極大化を図ると共に便利さを追求してきました。国境を越えた

世界の中に皆さんは4月から船出する訳です。思いもかけない事態に直面することも数あることでしょう。これまで学んで来た知見をフルに活用して最適な判断をして行かれることを期待しております。皆さんの感性と行動力を信じております。

有為転變の激しい世の中です。そういう世の中に皆さんは4月から船出することも数あることでしょう。これまで学んで来たことが何の役にも立たないということも起

こり得るでしょう。まさに未知との遭遇であります。そんな時に頼りになるのは相談することのできる「人」です。ご家族や友人、先輩、後輩、教師といった「人のネットワーク」です。多方面に広がった「人のネットワーク」、それは資産です。それは多ければ多い程、広ければ広い程いい。そうした「人のネットワーク」という資産の筆頭に来るであろうものは「同窓会のネットワーク」です。そして本学のそれは先程述べましたように今や6500名を超える資産に成長しております。同窓会は大学の力の重要な源泉の一つです。こちらの鎖の

輪は末永く活用してください。

「顧みての微笑み」という言葉があります。学位記を手にした皆さんはここみずき野で過ごして来た日々を思い起こしておられるものと思います。そして皆さんにはこれまで何年か、あるいは何十年か後の区切りの時に自分たちが歩んで来た途を振り返って見て見ることでしょう。その時にそれまでの来し方を、微笑みを以て総括することができるのかどうか。そして行く末に明るい思いを馳せることができるのかどうか。もちろんそのような大きな節目だけではありません。毎日の暮らし、日々の営みの中でも

ほつと一息ついて自らの行いを振り返つてみると、むしろそうした場面で思い出していただきたい言葉だと思つていますが、それらのいずれの時においても、願わくば、微笑みをもつて総括ができるようになつていただきたい。私自身はそうありたいと思つておりますし、皆さんにも是非そうした日々を送つていただきたいと願つております。

が幸多かれと祈りつつ私からの祝いの言葉
と致します。

「とてもかくも卒業したる めでたさよ
卒業記念祝賀会も中止のやむなきに至りま
した。

この度は残念ながら卒業式典のみならず
卒業記念祝賀会も中止のやむなきに至りま
せめて出席できなかつたご父母の皆さ
ま、ご関係の皆さまと祝いのひと時をゆつ
くりと楽しんでください。

ご卒業、誠におめでとうござります。



学校法人 新潟平成学院
理事長 星野 元

勇気と覚悟
挑戦する気概を！

ねばならない、ということです。

と思ってます。

つていくことは紛れもないことであります。確かに皆さんにとって戸惑いの春三月とはなりましたが、それぞれの道に向かつて胸を張り、力強く堂々と一步を踏み出してほしい、と願つて止みません。令和元年度、開学25周年の歴史を重ねた本学の卒業生は合計6000人を超えていました。そうした先輩たちも皆さんの仲間入りを手を広げて待ております。

さて、私は卒業式の祝辞のたびに同じようなことを申し上げておりますが、また繰り返さざるを得ません。つまり、皆さんは逃げることができない、極めて生きづらい時代を、歯をくいしばって生き抜いていか

に私達は存在します。そこに感染症のパンデミックが加わってしました。

私は地球温暖化に伴つて、人類が過去に体験したことのない、とてつもない自然災害の猛威や核戦争の偶発的勃発も想定せざるを得ない状況にある、と思っています。

しかし他方で、私は絶望的な気分に襲われるよりも否定はしませんが、それ以上に信念として人類の英知をもつて結集すれば、諸々の脅威に打ち勝つことができると確信しています。コロナウイルス対策でも言えることなのですが、世界の国々の一人ひとりの冷静さや連帯が試されるとあり、それは試練を越えて実行可能だ

新潟市南区味方)に生まれた碩学で、かつて京大総長を務められた平沢興先生(1900~1989年)の自伝に「山はむらさき」という著書があります。「越後平野のまんなかに生まれ、ふだん見る遠い山々がいつも紫に見えた」そうです。

その「山はむらさき」によれば、先生は京大医学部に入学早々、向学の夢が医学部の現実に切り裂かれ、ひどく精神を病んで故郷に戻ります。「医学部の現実」がどういうものだったのか、私には分かりません。先生はそして、故郷の雪原をさまよつていったある日、私淑していたベートーベンの叫びを聞きます。「まさに運命の瞬間」と先生は書いておられます。耳の病気で絶望的になりそうな25歳のベートーベン。その声は「勇気を出せ。たとえ肉体に欠点があろ

が幸多かれと祈りつつ私からの祝いの言葉
と致します。
そして最後にもう一句。
「ともかくも 卒業したる
めでたさよ
よろせよ
あやせよ

が幸多かれと祈りつつ私からの祝いの言葉
と致します。
そして最後にもう一句。
「ともかくも 卒業したる
めでたさよ
よろせよ
あやせよ

今春の卒業式は、新型コロナウイルスの感染拡大のため誠に残念ながら挙行できなくなりました。異例の措置について皆さんには、さぞかし悔しい思いをされていることと推察します。私も同じです。そして教職員も同様かと存じます。残念無念、決して忘れられない記憶となりました。

しかし卒業生、ご父母の皆さん、晴れ姿で迎えることができなかつた卒業式ではありますがあが、当然のことながら皆さんの「卒業」が色褪せる訳でもなく、みずき野のキャンパスで学び、友をつくり過ごした4年間の歳月は、生き生きとして生涯の糧にな

争と破壊の世紀」との決別を願いました。しかし、現実は相変わらずテロや地域紛争、宗教間の対立などが続き、多くの人命が奪われ続けています。そして貧富の格差拡大と世界の分断、過激化。大規模化する自然災害、高齢化と福祉の困難性、メルトダウンした原発と地震の恐怖などなど数えきれない試練と逆境が続く時代の真つただなか

卒業生の皆さん、これからいろいろな難局に直面するでしょう。その時、決して卑屈縮することなく、誇りと信念、そして果敢に挑戦する気概を持つて実社会で難局を乗り越えてほしい、と心から願っています。みずき野の西の空に、弥彦、角田の山並みが青く浮かぶ風景は、皆さんにとって生涯忘れない記憶として残るでしょう。皆さんが存じかどうか、旧西蒲原郡味方村（現

向かって叫ぶ戒めと励ましの言葉だつたといいます。「自分がときが煩悶し迷うのは当然だ」とこれを聞いた平沢先生はわれに返り、自分を取り戻したそうです。そして先生は、間もなく京都に向かうことになります。

「勇気」と「覚悟」。以上、ベートーベンと平沢先生の話から二つの言葉を卒業生に「贈る言葉」とします。



〈総代〉情報システム学科
貝津 拓実

学びを力に未来へ

記録的な暖冬により、雪の少なかつた今年の冬も終わりを迎え、陽ざしに温かさを感じられる季節となりました。

本日は予定されていた卒業式が新型コロナウイルスの感染拡大の影響により中止となりました。非常に残念ではありますが、学内において各先生から卒業生一人ひとりに学位記が授与され、加えて野崎学長をはじめ教職員の皆さまより激励のお言葉を賜る等、手段の暖かいご配慮に卒業生一同心より御礼を申し上げます。

私たちが新潟国際情報大学に入学したのは今から4年前、新たな環境への期待と不安を胸に大学生活がスタートしました。専門的な学問への挑戦や気の許せる友人ができるか、といった入学当初的心情を振り返ると、それが嘘のように充実した大学生活を送ることができ、この4年間は瞬く間に過ぎて行きました。

私は高校時代から情報システムというものに関心があり、さらなる専門知識を学びたいと考え、本学へ入学しました。しかし、入学当初は「情報システム」と名の付くもの全てに関心を抱く一方で、その幅広く細かな多くの分野については意識していませんでした。

そんな中でもひと際強く関心をもつたのが画像処理の分野、特に仮想現実、バーチャルリアリティと呼ばれるものです。近年、注目され始めた技術であるため、技術的な部分における情報が少なく、当初考案した機能を実現させることができるのが何とかといつた研究の難

祝電	順不同
日本私立大学協会	会長 福井直敬様
新潟県 知事 岡三にいがた証券株式会社	代表取締役社長 辻花角
ALSOOK	英世様
新潟綜合警備保障株式会社	代表取締役社長 辻和彦様
日本ビルコン株式会社	廣田幹人様
代表取締役社長 窪田勝様	大谷幹人様

退職教員 あいさつ



教科書づくりを体験

1996年4月1日から2020年
3月31日まで、情報を効果的に利活用
できることをめざした、情報論、情報
検索、情報文化の3科目を担当しまし
た。24年間を振り返ってみると情報シ
ステム学会の設立、夏期セミナーの立

教科書づく
情報システム学科

1996年4月1日から2020年3月31日まで、情報を効果的に利活用できることをめざした、情報論、情報検索、情報文化の3科目を担当しました。24年間を振り返ってみると情報システム学会の設立、夏期セミナーの立

情報システム学科

教科書づくり

ち上げ、エドモントンのＩＴ企業調査、パソコン学の教科書作成など多くの新しい体験をすることができました。最近は、組織が2学部になつたことから書類と形式的な議論が多くなつてゐるのが気になつて います。

い。 で、街で見かけたら声をかけてください。
教授 高木 義和



力を注いだ技能検定

主たる担当科目として「モテリンク数学」「オペレーションズ・リサーチ」「卒業研究1・2・3」を担当しまー

た。研究成果としては在職中、海外ジャーナル誌に40論文掲載されたことです。

私が担当したどの授業でも、学びの中
家、水木しげる先生は「好きの力を信じなさい」という言葉を残しました。

A black and white portrait of Dr. James C. Yeh, a man with short dark hair and glasses, wearing a suit and tie.

ぶ姿に励まされて

ともに学んだ卒業生・在学生の皆さん、両学部の先

2009年4月1日に本学に着任して以来13年間、お世話になり有り難うございました。この11年間教育面では、銀行・生保に就職しても活用できる内

「卒業」という言葉を目の前にすると寂しいものですね。

4年間過ごしてきた学生生活は本当に充実した毎日で、丸二から語ろうとするときには語り続けられる自信があります。

これまでの大学生活4年間を思い返すと、あつという間と感じる時と同時に、とても充実していましたものを感じられます。

私が本学に入学する大きなきっかけとなつたのは、「語学力」を向上したいという気持ちからでした。大学2年次に英語をさらに学びたいと思い、アメリカ留学に参加しました。多くの国籍の仲間と切磋琢磨し、語学能力の向上だけでなく、かけがえのない友達にも出会えました。また、完璧でなくともいいから自分の言葉で「伝える」ことの大切さを学ぶことができました。

4年次には朱鷺メッセで行われた「G20新潟農業大臣会合」にボランティアとして参加しまし

貴重な体験に支えられて

国際文化学科 塩原 聖奈

旦よりで、先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

私は高校3年生の時、これ通り陸上競技を続けられる。県内で探していました。その時、同じ高校の陸上の強かったOBの先輩が在学しており、陸上部を強化指定部にしていました。本学への入学を決意しました。そして、ずっと目標にしていた全国大会入賞を実現するために、4年間必死に練習を続けてきました。けがも何度か続き、1、2年次の頃は自己記録は更新できたものの、全国大会に出場することはできませんでした。

しかし、3年次で初めて大学の全国大会に出場し、同時に国体への出場も実現することができました。そして4年秋に出場した茨城での2度目

楽しく走り続けた4年間

情報システム学科 斎藤 大介

この4年間で得た経験、出会えたすべての人達に感謝をして、これから的人生をしっかり歩んでいきたいと思います。

卒業にあたつて

は取り組みました。
1つは、紅翔祭の企画・運営に携わり、主に模擬店管理と、留学イベントに取り組みました。
2つ目は、学友会長として大学行事の運営サポートに取り組みました。

忘れられない学友会活動

情報システム学科 佐藤 紗子

どちらも右も左も分からぬことばかりだった私を、執行部員はもちろんサークル団体の皆さんに支えていただきました。また、普段の学生生活においては、大学教職員の皆様から様々な点でご教示いただきました。どれも入学したての頃には想像もつかなかつた出来事で、本当に貴重な経験ばかりさせていただきました。私が4年間充実した学生生活を送ることができたのは、本学の入学を薦めてくれた私の両親をはじめ、本学教職員の皆様、友人のおかげです。この場をお借りして心から感謝申上げます。本当にありがとうございました。

私は大学4年間、一人で日本中を旅すること、またその団体を運営することなど、さまざまなことに関心を持ち、精力的に活動してきました。これらのことを通して、自身の見聞を大きく広げたり、違う誰かのことを考えて行動したり、とても有意義な経験をすることができたのはもちろんですが、それ以上に大切なことがあります。それは人ととの繋がりです。私はこれまで多くの人と出会ってきました。その度にさまざまな価値観に触れ、良い意味で「このままじゃ駄目だ」と危機感を与えられたことで成長することが出来たと感じています。

見聞広げた人との出会い

国際文化学科 岡田 謙輝

私は大学生活を送るにあたつて心掛けていたことがあります。皆さんもご存知かと思いますが、大学生という期間は自発的に動かなければ、ただ授業を受けて帰るだけの繰り返しで、4年間で得られるものは限られています。そこで、多くのことに興味を持つことは言うまでもなく、考えすぎるとやらない理由を見つけるとします。ため、ある程度考えたらすぐに行動に移すことを心掛けっていました。

これから社会人になりますが、大学生活で得てきたものを使充分に活かして、楽しみながら精進していくたいと思いま

JABEE認定プログラム 22人に修了証書授与



(情報システム学科
教受川 羊

月21日午後、JABEE（日本技術者教育認定機構）で認定されている、情報システム技術プログラムの修了証書授与式が行われました。令和元年度は22名が修了証書を授与されました。

JABEE修了生は、世界に通用する教育を受けた技術者とみなされ、国家資格である技術士の第一次試験免除の優遇措置が受けられます。

修了生を中心に、継続研さんと情報交換を目的とした、技術士・教員との交流会（年2回新潟と東京）への参加を呼び掛けています。社会で活躍されることを期待します。

280人が学窓巣立つ

—マスク着用で異例の「卒業式」

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で卒業式を中止した本学は、令和2年3月21日、本校みずき野キャンパスで学位記授与を行いました。卒業生280人（国際文化学科114人、情報システム学科166人）が各学部のゼミや研究室単位で教室に分かれ、担当教員から学位記と記念品を受け取りました。

全員が集合する式典は中止されまし

たが、卒業生はほとんどマスクを付けてキャンパスに集合、男性はリクルート

感染拡大の防止を最優先に配慮した異例の「卒業式」となり、恒例の祝賀会も中止されましたが、卒業生からは「ゼミの先生から学位記を授与されてうれしかった」、「最後にみんなで集まる機会があつてよかったです」との声が聞かれました。

第23回までの卒業生は合計6,654人に

年 度	卒業者数	情報文化学科	情報システム学科
平成9年度(第1回)	295人	116人	179人
10年度(第2回)	290人	124人	166人
11年度(第3回)	303人	126人	177人
12年度(第4回)	294人	116人	178人
13年度(第5回)	291人	118人	173人
14年度(第6回)	277人	111人	166人
15年度(第7回)	314人	118人	196人
16年度(第8回)	294人	115人	179人
17年度(第9回)	299人	121人	178人
18年度(第10回)	278人	110人	168人
19年度(第11回)	312人	126人	186人
20年度(第12回)	285人	117人	168人
21年度(第13回)	267人	105人	162人
22年度(第14回)	310人	117人	193人
23年度(第15回)	272人	110人	162人
24年度(第16回)	294人	113人	181人
25年度(第17回)	291人	124人	167人
26年度(第18回)	278人	107人	171人
27年度(第19回)	269人	124人	145人
28年度(第20回)	288人	114人	174人
年 度	卒業者数	国際文化学科	情報システム学科
29年度(第21回)	282人	106人	176人
30年度(第22回)	286人	110人	176人
令和元年度(第23回)	285人	118人	167人
合 计	6,654人	2,666人	3,988人

※9月卒業生含む



令和元年度学位記授与



卒業生特別表彰

令和元年度

キミノーデザイン製作所
齊藤叶

魚沼市小出地区で子供たちに
オリジナルスタンプを作るワ
ークショップを開催し、コー

学長賞（学業成績優秀者）
情報システム学科 貝津拓実
国際文化学科 西野千咲

スターを作成して同地区商店
街に採用された。また子供た
ちが地元のPRに参加できる
仕組みをつくり地域に貢献し
た。

課外活動賞
情報システム学科 上松彩香

斎藤大介
情報システム学科 猪俣慧樹

国際文化学科 川俣朝翔

国際文化学科 渡辺光恵

国際文化学科 鈴木尊就

国際文化学科 加藤大和

国際文化学科 佐藤紘子

国際文化学科 高澤拳

国際文化学科 笹山じょうもんチーム

国際文化学科 リフティーンズ研究部

国際文化学科 ワーリフティーンズ選手権大会

国際文化学科 地域交流賞

国際文化学科 情報システム学科

国際文化学科 十日町市の笹山繩文遺跡で開かれる「笹山じょうもん市」で、イベントの企画・運営を行ったほか、若者に地元企業の良さを知つてもらおうと企

業紹介パンフレットを制作し、地域に貢献した。

国際文化学科 木根渉真奈

国際文化学科 高度な資格取得に向け努力し、韓国語能力試験で優秀な成績を修めた。

高度な資格取得に向け努力し、TOEIC並びに実用英語技能検定で優秀な成績を修めた。また新潟市の国際イベントで通訳ボランティアをするなど、語学力を生かし課外活動に積極的に取り組んだ。